

地区だより

……………平成31年4月1日発行

ちゅうおう

<地区人口と世帯数>

男 19,414人 女 20,778人
計 40,192人
世帯数：20,836世帯
(3月1日現在)

2019
4月号

市からのお知らせ

【編集発行】

福島市役所広聴広報課
〒960-8601 福島市五老内町3-1
☎525-3710 ㊟536-9828

長年にわたり町会長として尽力された方々を表彰 平成30年度 市住民自治組織会長表彰式

2月19日、ザ・セレクトン福島で、市住民自治組織会長表彰式が行われました。町会などの会長として市政の進展と地域住民の福祉向上に貢献し、功績のあった方々を功労表彰(10年以上)と一般表彰(6年以上)として表彰しました。

中央地区では、功労表彰2人、一般表彰6人が受賞し、市長が表彰状を手渡しました。 ■問/市民協働課 ☎525-3731

▶前列左から、出席した、木戸さん、小河さん、古関さん
後列左から 深瀬さん、田中さん、阿部さん、二瓶さん

平成30年度 福島市住民自治組織会長表彰式



【功労表彰】

小河 日出男 様(大町町会)
古関 勝利 様(万世町会)

【一般表彰】

二瓶 勝雄 様(南町町内会)
伊勢 順一郎 様(豊田町町会)
阿部 秀雄 様(春日町会)

木戸 幸一 様(舟場町親和会)
深瀬 茂 様(新町町会)
田中 悦夫 様(曾根田町会)

“地域愛”の更なる醸成を目指します～地域の個性を生かしたまちづくり～

平成28年度からの5カ年計画で始まった「地域の個性を生かしたまちづくり計画」。計画期間の折り返しを迎え、中央東・西地区それぞれのまちづくり計画推進懇談会では、これまでの取り組みを振り返り、今後2年間の活動内容を確認しました。計画に掲げる目標に向かって、残りの期間も引き続き地域のまちづくりに取り組みます。 ■問/市民協働課 ☎525-3731

【中央東地区の主な振り返り内容など】

- ・花を植栽したプランターを設置し訪れる方をお迎えする「花によるおもてなし事業」を5回実施。
- ・幅広い年代が参加し、世代間交流の機会になっています。
- ・今後は、東北絆まつりやオリンピック・パラリンピック開催による交流人口の増加も見据えて「花によるおもてなし事業」に取り組んでいきます。



▲花によるおもてなし事業の様子

【中央西地区の主な振り返り内容など】

- ・地域の皆さんの親睦を深め、地区の神社や史跡、歴史などを知り、地域への愛着をさらに高めてもらうため「史跡探訪マップと名所案内看板の設置」に取り組みしました。
 - ・今後も引き続き名所案内看板の設置を進めます。また、マップと看板の活用に取り組みしていきます。
- ①小学校の社会科の授業で教材として活用し、フィールドワークなどには地域住民も積極的に協力します。
 - ②「みんなで歩こうみかわだい」など、地域を知る取り組みへの活用を促します。



▲名所案内看板

西児童公園リニューアルオープン!

野田町一丁目地内[主要地方道福島・吾妻・裏磐梯線、(通称：高湯街道)沿い]の「西児童公園」に、ジャングルジムなどの新しい遊具を設置しました。

地区の遊び場として、ぜひご利用ください。

■問/公園緑地課 ☎525-3765



中央学習センターからのお知らせ

【編集】福島市中央学習センター
〒960-8018 福島市松木町1番7号
☎534-6631 ☒533-7592

平成31年度 中央女性アカデミー受講者募集

中央女性アカデミーは、「新しいことをやってみたい! 学びたい!」という女性が集まって、興味があることや生活に役立つことなどを幅広い分野(教養・健康・運動・料理・手工芸・施設見学など)にわたって学習する講座です。新しい季節に新しい仲間と自分磨きをスタートさせてみませんか?

- ★対象者 中央地区在住・在勤のおおむね20代~60代の女性
- ★コース 月曜日コース・金曜日コースの2コース
- ★ところ 主に中央学習センター
- ★定員 各コース25名(先着順)
- ★期間 4月~翌年2月(主に月2回、年間19回程度)
- ★時間 午前10時~正午(学習内容によっては変更あり)
- ★参加費 年額1,000円(保険代・資料・運営費等) ※材料費等はその都度徴収します。
- ★申込み 4月12日(金)より中央学習センター窓口で受付を開始します。電話受付は翌日13日(土)から
※受付時間は午前9時から午後5時45分まで(火曜日・祝日は受付できませんのでご了承ください。)

合同開講式・記念学習のお知らせ

- ★とき 4月19日(金) 午前10時~正午
- ★ところ 中央学習センター
- ★記念学習
「音楽の力で心と身体をリフレッシュ」
講師: 日本音楽療法学会認定音楽療法士
近藤 美智子 先生

平成31年度 家庭教育学級「義務教育コース」受講者募集!!

小学校から中学校までの義務教育段階のお子さんをお持ちの保護者の皆様(祖父母もOK)を対象として、教育に関する専門家の方々の話を聴いたり、受講生同士で語り合ったりして、親としてわが子の成長の諸段階での課題を解決する糸口を一緒に探っていきましょう。詳細な案内は4月下旬を目安に各学校に募集要項のチラシを配布しますので、それをご覧になってお申込みください。お待ちしております。

学級名	学習期間・曜日・学習時間	主な学習内容
家庭教育学級 「義務教育コース」	・5月下旬~12月上旬(10回程度) ・主に月曜日 午前10時~正午 (講師の都合で変更もあり)	お子さんの成長の過程で生じる諸課題に対する親として望ましい関わり方を一緒に考えていきましょう。今年度は実地研修として学校訪問も予定しております。

ヤングカレッジ中央お試し講座 一人暮らしカンタンクッキング

6月から開講するヤングカレッジ中央のお試し講座です。みんな大好き! 定番料理の作り方を覚えてレポートに追加してみませんか? 新しい仲間をつくりたい方にもおススメです!

- ★内容: 「親子丼作り」
- ★とき: 4月25日(木) 午後7時~9時
- ★ところ: 中央学習センター2階実習室
- ★対象者: 福島市在住・在勤の18歳~35歳の独身男女
- ★参加費: 500円(材料代)
- ★準備物: エプロン、三角巾
- ★講師: 栄養士 佐藤 正子 先生
※申込み締切り: 4月18日(木)
※締切りを過ぎての返金はできません。

ヤングカレッジ中央とは?

毎週木曜日の夜、若者たちが集まって、自ら提案した様々な楽しい活動を行い、「仲間づくり」をしている講座です!

平成31年度「中央子どもクラブ」受講者募集!

お友だちと学校ではできない楽しい活動をしよう!
レクリエーションやキャンプ、施設見学などわくわくする体験がいっぱい!
お友だちをさそって参加しよう!

小学3年生~6年生
の皆さん
保護者の皆さんへ

- ◆期間 5月下旬~3月上旬
(主に日曜日・全12回)
- ◆時間 午前10時~正午
- ◆定員 32名



<申込み方法>詳しくは小学校をとおして配布されるチラシをご覧ください。

『福島市長杯争奪クラブ対抗囲碁大会』開催!!

去る2月23日(土)に日本棋院福島県支部が主催となり、「第1回 福島市長杯争奪クラブ対抗囲碁大会」が開催されました。市内12の学習センターから選抜された20チーム(1チームは5人)、100名の選手が、ピンと張りつめた雰囲気の中、真剣勝負で熱戦を繰り広げました。

【Aクラス】

- 優勝: 蓬萊A
- 準優勝: 渡利翠陽棋会A
- 第3位: 福島中央地区

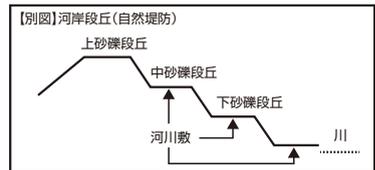
【Bクラス】

- 優勝: 蓬萊B
- 準優勝: チーム橘
- 第3位: 信夫囲碁クラブ

歴史コラム『これを学んで福島通になろう』 郷土史家 江代正一 氏

第1回「福島中心市街地の地形~川は歴史を作る~」

河岸段丘(自然堤防)及び複合河岸段丘は、福島市街を流れる大河阿武隈川に注ぐ支流の河川(南から荒川、鍛冶屋川、白津川、須川、天戸川、及び松川)の複合扇状地を形成し、その東端に福島市街がありました。その河岸段丘と複合河岸段丘が合わさったところに微高地があり、古代からその場所に住居をかまえて生活していました。



河岸段丘は一番古い段丘を上砂礫(*)段丘、二番目に中砂礫段丘、三番目に下砂礫段丘と、階段状になっており(別図のとおり)、古代の人々々々、下砂礫段丘に住居をかまえていたとされます。なぜ下砂礫段丘に住んでいたのかというと、第一に、川が洪水になっても河岸段丘上は水害にならないこと、第二に、生活するためには煮炊きする木材が必要であり、山に薪を取りに出かけなくても川の流木を利用できることが理由にありました。

下砂礫段丘上には、縄文~弥生時代の住居跡が発掘されています。歴史を作る一番重要なことは、この段丘上(平地の場合)で人と人をつなぐ最初の道ができ、その道を通して人々が行き交ったことで歴史が生まれたことです。

福島市街地の複合河岸段丘の場所は、主に鳥谷野、腰浜、五十辺、杉妻町(県庁周辺)、五老内などで、古代から中世にかけての集落及び館などが自然にできたところでした。

(次回につづく)

※砂礫(されき)とは、砂・小石